

貫通日本語

かんつうにほんご

[02] Jan.2006
VOL.2
[Http://www.kantsuu.com](http://www.kantsuu.com)

中日双语
赠送超值CD
RMB 15.80



[考情看板] 常考易混句型归纳
——『もの』的用法

[人物] “东京焦点”可越
「東京視点」の可越

[留学日本] 日本京都
学院大学介绍
京都学園大学紹介
千叶大学介绍
千葉大学概要



[东京时尚] 创造力——职场生存的法則
創造力——職場での生存の法則

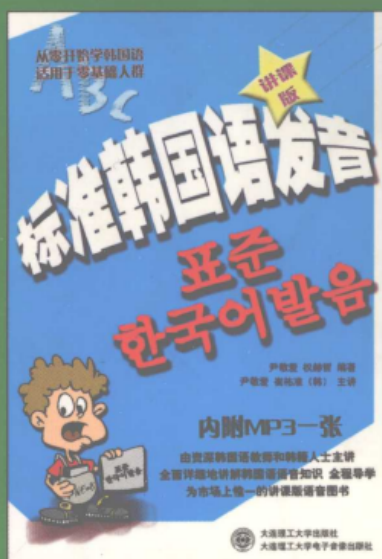


DALIAN
UNIVERSITY OF
TECHNOLOGY PRESS
大连理工大学出版社

由外语界资深教师编著——讲课版语音图书系列（内附MP3一张）

《标准英语发音》
《标准法语发音》
《标准日语发音》
《标准德语发音》
《标准韩国语发音》

new



定价：15.80元（附赠CD）

ISRC CN-Q08-05-0128-0/A·G4

ISBN 7-88835-251-0



9 787888 352513 >

- 权威——编者从事外语教学和培训10余年，拥有丰富的教学经验。
- 全面——从元音到辅音，逐个讲解，均配有形象的发音口型图和详细的发音要领讲解。为了帮助初学者掌握发音规律，每一课都设计了一项“注意”，介绍要点，总结规律，特别对中国学习者可能出现的问题进行分析，提出如何纠正的建议。在单个音素的教程结束后，本教材还设计了综合发音练习。
- 新颖——本套图书打破以往的发音书的模式，以开发学习者的听觉能力为先导，通过学习者自己的发现发音规律，然后再帮助学习者进行总结。在此基础上，通过一系列练习巩固，扩充和加深印象。
- 唯一——本套图书内附MP3一张，由资深教师和外教主讲，全面详细地讲解外语语音知识，全程聆听市场上唯一的讲课版语音图书。
- 实用——本套图书除了可以作为专业学生的语音教材外，还可以满足社会各阶层外语学习者和自学者的要求，适合零基础人群。

大连理工大学出版社出版发行
全国各地新华书店和书城均有销售

Shanghai House Foods

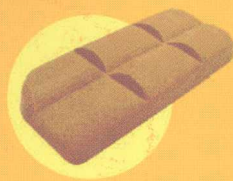


新上市

好梦多 百梦多

添加苹果与蜂蜜的
日式咖喱饭专用调料

好侍百梦多咖喱
易溶、美妙滋味尽在其中 <日式块状调料>



好侍百梦多咖喱是烹饪日式咖喱饭的专用调料,由十余种香辛料、添加苹果与蜂蜜精制而成的咖喱块,有原味、微辣、辣三种味道,满足不同口味倾向的中国消费者。



将肉和蔬菜炒一炒,放入咖喱块煮一下就能简单做出美味可口、营养均衡从大人到小孩都喜欢的日式咖喱饭。

上海好侍食品有限公司 地址:上海市嘉定工业区合作路1365号 电话:(021)69169750 邮编:201821

*百梦多咖喱 现在上海和北京的各大超市有销售

商务日语能力考试 (JETRO) 特训班招生

一种培养商务日语人才的全新考试 在中国大连拉开序幕



大连市政府高瞻远瞩引进日本贸易振兴机构的考试项目，每年6月和11月在大连外国语学院举行。

商务日语考试比日语国际水平测试更注重实用，考试的目的是为了测定商务的交流，跨文化调节、相互理解、行动等四个能力。测试分数0—800分，为日语学习者提供高层次检测的空间，日语能力测试一级通过者也可参加商务日语考试。

培训教师由具有丰富商务日语工作经验的留日归国博士等担当，全新的教学理念帮助你提高商务日语的应用能力和应试能力。

根据商务日语测试指南精心编写的4套400道模拟试题位考生提供实战演习，让你考试取得优异成绩。

大学在校生、自考生、毕业生、日资企业员工均可报名参加培训和考试。

为方便日资企业员工备考，可到单位团体培训。

商务日语能力考试 (JETRO) 是近年来日本推出的官方测试，自1996年考试，已在14个国家的36个城市举行。考试分为听力、听力阅读、阅读三部分。成绩在0—800分之间分6个层次。

商务日语考试主要测试语言交流技巧，而不是测试日语和商务知识本身。考试的目的是为了测定商务交流、跨文化调节、相互理解、行动等4个能力。

JLRT (听说能力测试) 考试方式，采用听力和视觉互动组合 (文字加视像或视图) 的客观考题，答题直接在答题纸上划线，全部采取用四答选一方式。

考试分为3部分8种题型。详见以下图表：

JETRO考试形式一览表

测试部分

测试题型

视觉 (或附加听力)

听力

大约题数

大约时间

一、听力

1. 描述

先看照片或图片无解释声音

后听读答案。4选1

10分

2. 表现力

先看照片、图片听有声解释

后听读答案。4选1

10分

3. 听力

先看图、听提问再听有声会话

后听读答案。4选1

15分

二、复合

听力+阅读

4. 描述

先看图、听提问无解释声音

无听读音看文字。4答案选1

15分

5. 听力+阅读

先看图或表、听提问再听会话

再提问后看图或表。4选1

15分

三、阅读

6. 语法+词汇

看句子选择填空 (副词、句型等)

无听力内容。4答案选1

10分

7. 表现力

看会话选择填空 (敬语、惯用等)

无听力内容。4答案选1

10分

8. 短文

按提问看短文、表图、函件回答

无听力内容。4答案选1

15分

合 计

100题

120分钟

培训教材：

1. JETRO商务日语能力测试公开指南
2. 《办公室日语》高见泽孟 著 (外研社)
3. 《商务日语文书》(大连理工大学出版社)
4. 《商务实战日语会话》(大连理工大学出版社)
5. 《商务日语测试听解读解400题》石若一、张晨曦编

任课教师：留日博士石若一、张晨曦等。

开课时间：2005年12月10日至2006年1月15日 每周一、三、五或二、四、六晚17:30-20:00

上课地点：大连教育学院

学 费：560元

教材资料费：120元

报名地点：中山区巾帼大厦610室

电 话：82651068 81892800



我这颗心已经学会不哭泣
是因为哭到眼泪都枯竭了吗？

空が泣いた
海が泣いた
夕日も泣いた
泣かないのは何だろう
悲しすぎる心か

この心は泣かないようにできている
泣きに泣いて 涙は枯れたか

泣け 泣け 泣け
 どんどん泣け
 飽き飽きするほど泣いてみる
 そいつが笑いになるまで

涙は言うだろう
また会いに來い





主办单位：大连理工大学出版社
大连理工大学电子音像出版社
贯通日语网站
<http://www.kantsuu.com/>

执行主编：遆东敏
责任编辑：王 铮
责任校对：朱德蓉 王慧芳
特约编辑：坪谷奈月 清水博行（日）
设计总监：尹 明
发行总监：邓正高

广告经营许可证号：001047
ISRC CN-Q08-05-0128-0/A·G4

《贯通日语》杂志社
编辑部 地址：中国辽宁大连软件园路80号
理工科技园B座 116023
电话：0411-84707956
传真：0411-84707956
发行部 电话：0411-84708842
传真：0411-84701466
邮购部 电话：0411-84703636
传真：0411-84701466
网 址 <http://www.dutp.cn/>
<http://www.kantsuu.com/>
信 箱 yinxiang@dutp.cn

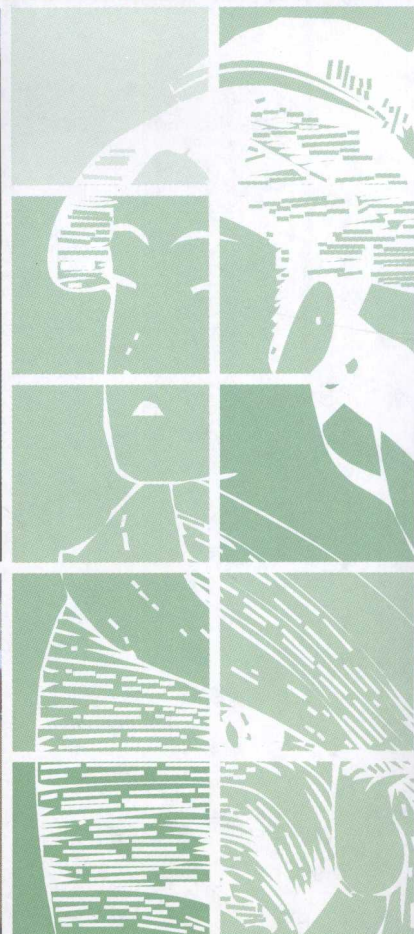
印刷：大连海事大学印刷厂
出版日期：2006.1
定价：15.80元（赠送CD）

编辑委员会

主 任 张 祎

副主任 （以姓氏笔画为序）
闫大炜 肖厚国 张宏亮

委 员 （以姓氏笔画为序）
田 渝 可 越 吕 磊 池田麻理 李 慧
金辉振 坪谷奈月 季晓骏 林 涛 桂燕姬
周 康 清水博行 常佳宁 黄润珠



かんつうにほん

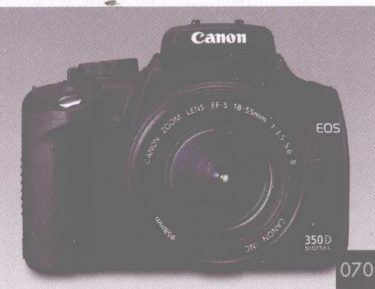


063

かんつうにほんご 貫通日本語



060



070

封二

广告：百梦多咖喱

079/080

「青聯培訓杯」大連市第一回中日作文コンテスト
「青聯培訓杯」大連首屆中日作文大賽活動方案

封三

商务日语能力考试（JETRO）特训班招生

CONTENT

001 卷首语

文化之旅

- 004 日本风采 ■ 日本的枫叶 — 日本の紅葉
■ 日本茶道 — 日本の茶道

- 008 文苑 ■ 初雪 — 初雪
■ 冬日黄昏 — 冬の夕暮
■ 白云愁色 — 白雲愁色
■ 知床半岛的冬天 — 知床半島の冬

- 015 人物 ■ “东京焦点”可越 — 「東京視点」の可越

018 学行天下

- 019 语言部落 ■ 关于短句「充実とした」的探讨
■ 关于「～させていただく」的动作主体
■ 关于形式名词「の」和「こと」的用法区别
023 日语流行风 ■ 不是都说...的吗? — って言うじゃない?

- 026 ◎速听的耳朵 ■ 新闻集锦 — ニュース特集

- 029 考情看板 ■ 常考易混句型归纳 — 『もの』的用法
■ 2003年日语能力测试2级经典试题讲析

- 034 留学日本 ■ 我的留学生活(一) — 私の留学生活(一)
■ 日本京都学院大学介绍 — 日本京都学園大学紹介
■ 千叶大学介绍 — 千葉大学概要

042 娱乐几何

- 042 ◎歌吧 ■ 天象仪 — プラネタリウム
■ 沧海一声笑 — 滄海一聲笑

- 045 ◎动漫频道 ■ 火影忍者 — NARUTO
■ 最新动漫简介 — 新しいアニメの紹介

- 054 ◎经典日剧对白 ■ 东京爱情故事 — 東京ラブストーリー

059 都市风景

- 060 东京时尚 ■ 流行的个性, 永远的潮流 — 流行の個性, 永遠の潮流
■ 日本的现代化厨房 — 日本のシステムキッチン
■ 创造力—职场生存的法则 — 創造力—職場での生存の法則
■ 日本人的洗浴习惯 — 日本人の入浴習慣

- 070 数码E族 ■ Yoni的日记 — ヨニちゃんの日記
■ 正确的走路方法 — 正しい歩き方
■ 左右视角显示不同画面的45英寸液晶
—— 左右に異なる画面を映す45インチ型液晶
■ 500万像素图像6秒传输完毕! 佳能无线内置LAN数码相机!
—— 500万画素の画像を6秒で伝送!
キヤノン無線LAN内蔵デジカメ!
■ DoCoMo发布支持对讲功能的“FOMA 902i”手机
—— ドコモがpush-to-talk対応の「902i」発表
■ 佳能2.4英寸有机EL面板 采用自主开发低分子材料
—— キヤノン2.4インチ型有機ELパネルを披露, 自社開発の低分子材料を採用
■ SED的55英寸产品在CEATEC JAPAN 2005受到青睐
—— SEDが55インチ型品CEATEC JAPAN 2005で人気を集める

076 读者园地

日本の紅葉

日本的枫叶

紅葉の京都



楓などの紅葉の季節に、人々は紅葉の景勝地を訪れ、秋の美しい風景を満喫する。昔は宮廷や貴族の遊びに限られていたが、江戸時代以後、ようやく庶民の間にも広まった。永観堂などの名所・絶景から舞い散る落葉などの情緒あふれる映像美まで、日本の秋を彩る紅葉のあらゆる魅力を凝縮。特典映像は「京都の紅葉」である。世界中で160にも及ぶカエデの種類、中でも京都で一番多く見られるイロハカエデは、最も美しく色づくと言われているのである。さらに、その美しさを一層引き立てるのが、京都ならではの朝晩の冷え込みと、日中寒暖の差。これが鮮やかな紅葉を生みだす。また、自然や気象条件だけでなく、京都の歴史深い神社仏閣を背景にした風情が、格別な美しさを演出しているといえるでしょう。

今ごろ、京都は紅葉で燃えあがります、京都の紅葉名所を訪ねてみよう。

京都之红叶

在树叶变红的季节里，人们四处寻访红叶胜地，饱览秋天美丽的风景。以前仅仅是宫廷和贵族消遣，到了江户时代以后才在平民之间广泛流传开来。从永观堂等名胜到情绪四溢、飞舞飘散红叶的印象美将日本的秋天装饰得色彩缤纷，红叶的所有魅力也凝缩其中。在日本，最特别的要数“京都的红叶”了。全世界有近160种枫叶，其中在京都最多、最常见的伊吕波枫叶是被公认最

美丽的。只有在京都这种早晚骤冷与昼夜温差的气候条件下才能有此艳丽的红叶，并让这份美丽更加卓绝。不仅仅是自然和气候的因素，以京都历史悠久的神社佛阁为背景的风情，才能营造出如此独特的美。

现在正是京都红叶烂漫的季节，让我们去寻访京都的红叶名胜吧。

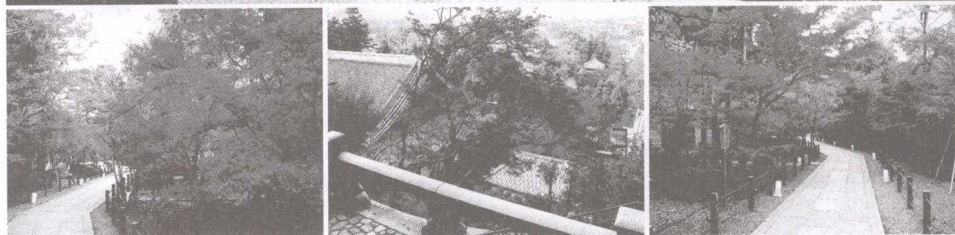
東山の第一紅葉名所
——永観堂 (Eikan-Do)

正式な寺名は禅林寺ですが皆さん親しみを込めて永観堂と呼んでいます（永観堂は「紅葉の永観堂」と呼ばれるほど）。山手に塔頭が並び回廊沿いに紅葉が多数有り、門横の池廻りと堂内両方から紅葉が楽しめます。本尊は首を左に振り返る阿弥陀如来仏で「見返り阿弥陀」と呼ばれています。真紹僧都が平安時代に創建した後、承暦時代頃(1077年頃)に永観律師が住職となり、貧しい病人に徳を施した永観を慕い、いつか永観堂と称されるようになりました。



东山第一红叶名胜——永观堂

永观堂的正式名称是“禅林寺”，但大家都亲切地称它为“永观堂”（永观堂又被称为“红叶的永观堂”）。沿着山边小寺林立的回廊两旁红叶数不胜数；门侧池塘周围的红叶与永观堂内的红叶都是十分迷人。永观堂的正尊是一座向左看的阿弥陀佛如来佛像，被称为“回眸的阿弥陀佛”。平安年间真绍僧都创寺以后，在承历年间（公元1077年左右）由永观禅师担任住持。为了纪念帮助贫困病人的永观禅师，渐渐地被称为“永观堂”了。



京都五山より有名な名刹 ——南禅寺 (Nanzen-ji)



南禅寺は、秋は紅葉の名所として親しまれています。境内はのんびりした雰囲気、三門や本堂の周りに座り語らう人やお弁当を広げている人もいました。本堂の側では大きなイチヨウの木ともみじの木が競い合うように立って、美しいコントラストを見せます。

また、南禅寺の周辺ではこの季節から冬にかけて「湯豆腐」を楽しむことができます。紅葉を楽しんでちょっと冷えた体に湯豆腐…というのもいいですね。



位居京都五山之上的禅宗名刹 ——南禅寺

南禅寺作为秋季观赏红叶的名胜地而广为人知。寺内清净悠闲，有的人坐在三门（三门代表的是空门、无相门、无愿门）和正殿周围闲聊，而有的人在吃着便当。正殿一侧的大银杏树与红叶树交相辉映，美丽无比。

此外，在南禅寺的周边，从这个季节到冬天还可以享受到更美味的“豆腐锅”。在欣赏红叶的时候，微感凉意之际来一碗“豆腐锅”，可真是一种无上的享受啊。



完璧な紅葉名所 ——神護寺 (Jingo-Ji)

天長元年（824）、河内（大阪府）の神願寺と高雄山寺に合併され、「神護国祚真護寺」と称したのが始まりです。大同4年（809）に空海（弘法大師）は入山、以来14年間住持して、平安仏教の発祥地となりました。

神護寺の約20万平方メートルの山内全域は、木々の緑と紅葉におおわれていて、朱の金堂はカエデと色をきそい、大師堂は7世紀間の風雪に堪えてひっそりと静まり。境内最西端の地藏院の庭からながめると、清滝川の清流がつくる錦雲峡は、有名な「かわら投げ」のかわらけのゆくえを定めかねる千仞の溪谷です。春は桜が満山をかざり、夏は蝉しぐれに明け、秋は紅葉が満山を燃え上がり、冬は雪に埋もれてこよなく美しさにつつまれて、しみじみと人の世のあり方を考えるのによい環境です。



京都完美的紅葉景致——神護寺

天長元年（公元824年）河内（大阪府）の“神願寺”与“高雄山寺”合并，称为“神护国祚真护寺”。大同四年（公元809年）空海禅师（即弘法大师：唐朝东渡日本高僧）入寺担任了14年住持，使神护寺成为平安佛教的发源地。

神护寺占地约20万平方米，全寺都被树木的绿色和红色所笼罩，朱红色的正殿与枫叶竞相争艳。大师堂经过了7个世纪的风雪，沉寂无声。从院内最西端的地藏院举目远眺，清龙川的清流所形成的锦云峡是有名的“投瓦难知其踪”的千仞溪谷。春天遍野樱花、夏季蝉鸣如阵雨声、秋天红叶烂漫、冬季银装素裹，所有这些让人深深体会到何谓人间仙境。

京都五山の一つ ——東福寺 (Tofuku-Ji)



東福寺——京都五山の一つで広大な境内（約16万平方メートル）に伽藍が並ぶ。紅葉の東福寺、通天橋として知られ、シーズンには凄い賑わいとなります。天橋からの眺めが特徴的な東福寺洗玉澗一帯に繁る楓は俗に通天紅葉と呼ばれ、葉は三つに分かれ、黄金色に染まるのが特徴で数は二千本に及んでいます。

古来より僧や文人墨客の吟詠をさそった通天橋からの溪谷美、通天橋の春夏秋冬は、今もお訪れるものの心を洗い清めてくれるようです。



京都五山之一 ——有京都最大禅寺之称的东福寺

东福寺是京都五山之一，宽广的寺院内（约16万平方米）寺院林立。以“红叶的东福寺”、“通天桥”而闻名，到了红叶观赏的季节热闹非凡。从通天桥上举目远眺是东福寺观赏红叶的一大特征，洗玉涧一带繁茂的别具一格的枫叶通常被称为“通天红叶”，其特征是叶分三瓣、颜色金黄，数量约达2000株。

自古以来通天桥与溪谷之幽美吸引了无数僧侣和文人骚客们吟诵赞美。即便是现今，通天桥周围的四季景色仍然会让游人觉得心清气爽。



日本庭園の代表的存在 ——龍安寺 (Ryuuan-ji)

龍安寺といえば「虎の子渡し」という枯山水の石庭が有名です。エリザベス女王が訪れ、この庭の絶賛したことから、海外において日本庭園の代表的存在とされています。庭はそのため虎の子渡し、七五三の石組、黄金分割などさまざまな指摘がされています。時間、空間を越えて、静かに心眼をひらき自問自答するにふさわしいお庭です。

山門を入ってすぐの「鏡容池」と呼ばれる大きな池です。「鏡容池」の周りの紅葉の絨毯や紅葉のトンネルを楽しみながらゆっくり散歩すると、あっというまに1時間くらい経ってしまいます。石庭のほうは、できれば観光シーズン以外の時期に訪れることをおすすめします。白砂だけで形作られ、不要なものを省いた簡潔美の極致。禅の精神の表現ともいわれるこの石庭を縁側に腰掛けて心ゆくまで眺めてみてはいかがでしょうか。



日本庭園代表的存在 ——龍安寺

说到龍安寺，其中被称为“虎之子渡亭”的枯山水石庭非常有名。伊丽莎白女王访问日本时曾对这个庭園赞誉有加，在海外被认为是日本庭園的代表性杰作。这个庭園又被称为“虎之子渡亭”、“七五三的石组”、“黄金分割”等。这是超越时空精心凝思的圣地。

一进入山門就能看到一個被称为“鏡容池”的大池塘。踩在“鏡容池”周围紅葉织成的地毯上，或是紅葉林遮掩成的夾道緩步而行，对于时间的流逝会浑然不觉。对于枯山水石庭，最好是在观光季节以外的时间去。它只由白砂堆积而成，将简洁之美发挥到了极致。坐在侧面的回廊上随心所欲欣赏这个被称为“禅髓的表现”的石庭，感觉会怎样呢？！



東洋の宝石箱 ——三千院 (Sanzen-In)

三千院の紅葉の魅力は立派なカエデが多いだけでなく、建物や庭園とのとりあわせの妙にあるといえるでしょう。新緑、石楠花、紫陽花、秋海棠の頃も素敵な庭園です。自然の傾斜をいかして堂宇を配置、庭園は上下2段からなります。上段は池泉回遊式の有清園（ゆうせいえん）、下段は池泉観賞式の聚碧園（しゅへきえん）でカエデの紅葉が美しく、敷き詰めた苔に散り落ちた赤や橙の色模様も見事。大原三千院は京都を代表する紅葉の名所として、多くの人々から親しまれています。なかでも宸殿から有清園を通して眺める往生極楽院を作家・井上靖は「東洋の宝石箱」と表現しています。



東洋宝石箱——三千院

三千院の魅力不仅仅在于艳丽迷人的红叶，其建筑物与庭園的搭配也是绝妙之极。在新緑、石楠花、紫阳花（绣球花）、秋海棠等竞相争放的时节，景致十分美丽。三千院充分利用山体自然的坡度而建，庭園分成上下两部分。上部有回游式泉池的“有清園”，下部有供观赏的泉池“聚碧園”和美丽的枫叶。鲜红、明橙色的枫叶飘落在遍地碧绿的苔藓上更是风情无限。大原三千院作为京都红叶名胜代表之一深得众人喜爱。作家井上靖先生把从宸殿越过有清園眺望的往生极乐院，称为“东洋的宝石箱”。

世界に名高い寺院 ——大徳寺 (Daitoku-Ji)

大徳寺は一休さん（一休宗純）の修行なされた世界に名高い寺院です。嘉暦元年（西暦1326年）、開山大燈国師が紫野の地に小さな庵を営んだことに発祥を持つ。その後、南北朝の動乱等、たび重なる戦禍の狭間に衰退の道をたどる事となった。特に、応仁・文明の乱においては洛中の諸大寺とともに焦土と化してしまった。このように荒廃した大徳寺を他山に先駆けて復興させたのが一休宗純である。五山の衰退にひかえ、その黄金期を迎える事となった。

文化の面においても、厳しい禅法によって各時代の貴顕、特に武将や茶人などの文化人に深い影響を与え続けてきた。本山及び各塔頭が有する建造物、書画工芸品等の国宝、重要文化財や、特別史跡、名勝庭園の数々は、日本文化を守り、今後も守りつづけていきたいものです。

享誉世界的名寺——大徳寺

大徳寺因一休禅师曾在此修行过而闻名世界，起源于嘉暦元年（公元1326年）由大灯国师在紫野创建的一家小庵。之后经历南北朝的动乱等在反复的战祸中走向衰退，特别是在应仁文明之乱中与洛中其他大寺一起化为灰烬。一休宗纯禅师领导已经荒废至此的大徳寺成为引导其他寺院复兴的先驱。等到五山衰退之后，大徳寺迎来了属于它的黄金时代。

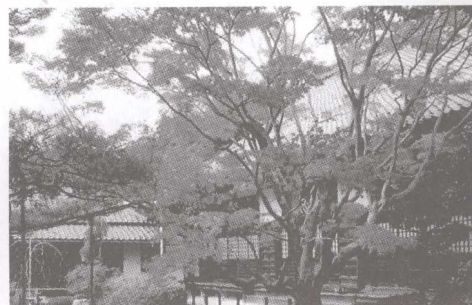
在文化方面，其严厉的禅法对各朝代的显贵特别是武将与茶道爱好者等给予了极其深远的影响。总寺院和各小寺所拥有的各种建筑物、书画工艺品等国宝、重要文物，特别是史迹、名胜庭园等传承着日本文化，希望今后也能继续传承下去。

芸術村の足跡の象徴 ——光悦寺 (Koetsu-Ji)

その芸術村の足跡を象徴するのが光悦寺です。楓が天を薄くおおう境内には光悦の意気が感じられる太虚庵、光悦の像を安置する三巴亭、了寂軒、本阿弥庵など七つの茶室が散在しています。また太虚案前にめぐらされている垣根は、「光悦垣」と呼ばれた。本阿弥光悦の屋敷跡を後に寺としました。光悦は刀、蒔絵、絵画、陶芸...の職人を住まわせ芸術工房を営みました本阿弥一族の墓が庭園内にあります。庭園中央の臥牛垣と呼ばれる垣根周りの紅葉が素晴らしいです。

「悟りを開く」「迷いを起こす」 の窓——源光庵 (Genkou-An)

源光庵は伏見桃山城より移した血天井で知られる寺です。秋の紅葉は素晴らしく特に本堂窓、丸、四角からの紅葉見物は昔から「悟りを開く」「迷いを起こす」窓ごしの紅葉として有名です。廊下血天井に伏見桃山城で玉碎した鳥居元忠一門の手形、足形が残る。



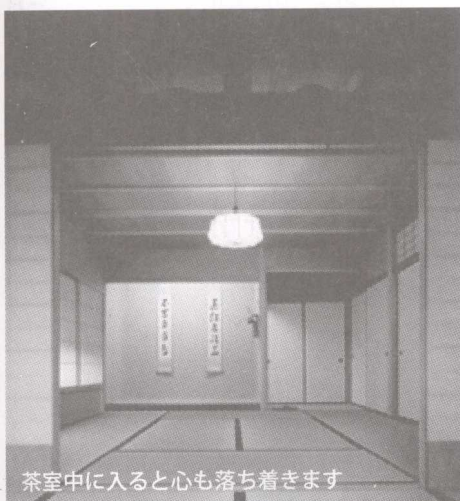
艺术村足迹的象征——光悦寺

光悦寺是艺术村遗迹的象征。在天际被枫叶微微染红的院内，共有能感受到光悦意气的太虚庵、放置光悦之像的三巴亭、了寂轩、本阿弥庵等七间茶室。在太虚案前所围筑的篱笆被称为“光悦垣”。本阿弥光悦曾居住的地方后来被建成了寺院。庭园内有以刀剑鉴定、泥金画、绘画、陶艺为生，经营艺术工坊的本阿弥一族的陵墓。庭园中央被称为“卧牛垣”的篱笆周围的红叶非常漂亮。

“顿悟之窗”与“迷惘之窗” ——源光庵

从伏见桃山城移来的血天井令源光庵广为人知。而源光庵秋天的红叶也异常美丽，特别是通过正殿的圆窗、四方窗观赏红叶，自古就作为“顿悟之窗”（象征宇宙与圆通融合）“迷惘之窗”（代表生老病死与四苦八苦等意）隔窗观赏红叶而闻名。回廊中的血天井还残留着伏见桃山城已经坍塌的鸟居元忠牌坊的遗迹。





茶室中に入ると心も落ち着きます

日本の茶道

茶道の楽しみ、もてなし、

いちごいちえ
一期一会

最初は中国から茶葉が輸入され、おもに貴族や僧侶の特別な飲み物となりました。そもそも日本人が茶を飲むようになったのは奈良時代からと言われています。

茶道を良く知らない人にとって、茶道とは単に一定の作法でお茶を点てそれを一定の作法で飲むもの、と考えがちです。しかし実際は、生きていく目的や考え方、宗教、茶道具や茶室、置く美術品など、幅広い知識や感性が必要とされるとても奥深い総合芸術です。

茶道は禅と深い関わりがあります。禅宗は仏教の一派で、「今をどう生きるか」という教えのようなもので、茶道には禅の精神が生きています。むしろ禅の考え方が茶道の根本にあると言ってもいいでしょう。人は茶室の静かな空間で茶を点てることに集中することで心が落ち着き、自分自身を見直すことができます。

また、茶会では、用意されたすべてのものに意味があり、お茶を点てるための道具から、床の間にかける掛け物、茶室に飾る花など、すべてについて考えて客を迎えます。そのため、亭主は道具や美術品についての広い知識も必要ですし、美的感覚も研ぎ澄まされていなければいけません。そのため、茶道は日本の生活文化全てを含んだ総合芸術と言われているのです。

茶道には「一期一会」という言葉があります。文字通りには、一生に一度の出会いを意味しますが、茶道では人との出会いを一生に一度のものと思い、相手に対し最善を尽くしながらお茶を点てることを意味します。茶道には決まった形の到達点はなく、その時ごとに関わる人間や物によってすべてが変わります。



抹茶は深い緑色の粉末です

抹茶について

茶道で使うお茶は抹茶と呼ばれる茶の葉の粉末です。抹茶は普通の日本茶とは異なる、特別な製法で作られます。まず茶の樹から新芽が伸びる頃、樹に覆いをかけ、直射日光をさえぎるようにします。これにより独特の甘みとすっきりした味わいが出るのです。こうして収穫された新芽を蒸気で蒸して乾燥させ、茎の部分を除き、粉末にしたものが抹茶と呼ばれています。

抹茶は直接茶碗（ちawan）に入れ、上から湯を注ぎ、茶筌でよく掻き混ぜて飲みます。「紅茶などは飲みながら話をしたり、食べたりすることもあります。でも茶道では抹茶を飲むとき、正座をして茶碗を両手で持ち、途中で置いたりせず、飲みきるまで集中する。抹茶を飲む瞬間には茶がすべての目的になる。それが普通のお茶とは違うところなんだと思います」と宗屋さんは言います。

点前について



茶碗に湯を注ぎます

茶器を清め茶碗を温めます

抹茶を茶碗に入れます

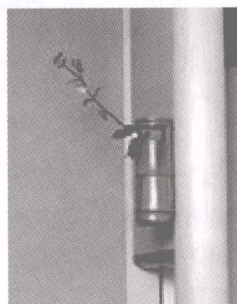
茶道具について

茶会には祝ごとの茶会や各季節の行事などそれぞれのテーマがあり、演出のために特別の道具が用意されます。

まず茶席には「掛物」、「花入」と季節の花が飾られています。そして茶を点てるために、「釜」、「水指」（みずさし）、「茶入」（ちやいれ）、「茶碗」、「茶杓」（ちやしゃく）などの道具を使います。

茶席では、どのような道具をどう組み合わせるかが大切なポイントです。亭主は茶会の度ごとに、その茶会のテーマを表現するために道具を選び、客は亭主からその道具の歴史を聞いたり、道具を拝見して楽しむことができます。道具は新しい物、古い物を問わず季節や趣向、客に応じて組み合わせたり、「見立て」という表現方法で、例えば水指にステンレスポット、菓子にチョコレートを取り合わせたりするなど、茶道とは縁のない物を取り入れることもあります。

また武者小路千家では利休の時代から伝わる古い道具をたくさん保存していると宗屋さんは言います。「400年前、利休が使っていたものと同じ道具を今も同じように使うんです。その瞬間、400年前の歴史上の人と自分を同一化できる。美術館で古い茶道具を見るのではなく、肌で感じるができるんですね。それはお茶をやっているからこそ感じられる喜びなんです」



花入



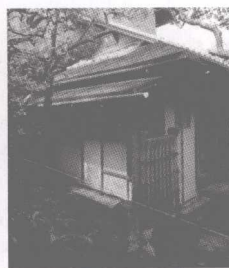
掛物

武者小路千家の紹介

武者小路千家の四代・千一翁宗守は1667年、京都に茶室「官休庵」をつくりました。それが京都上京区の武者小路にあったので、以来、一般に武者小路千家と呼ばれるようになりました。

「官休庵」は一畳台目（畳約1.5枚分ほどの大きさ）と呼ばれる、とても小さな茶室で、現在の「官休庵」は大正5年（1916）に再建されたものです。また茶室を繋ぐ茶庭の美しさは有名で、京都市指定の名勝にもなっています。

また、東京都文京区にも「東京稽古場」があり、18世紀前半に作られた「半床庵」という茶室があります。



官休庵へとつづく編笠門 庭から見た官休庵

用語集

ちゃせん 茶筌	茶碗に入れた抹茶と湯をかきまぜる竹製の道具
ちやしやく 茶杓	茶が入っている容器（棗や茶入）から茶をすくい出す竹の匙
ちやいれ 茶入	濃茶を入れる容器、陶器製
なつめ 棗	薄茶を入れる容器、主に漆器
ろ 炉	畳の一部を切り開けて箱形にして、炭を組んで火をおこす場所
ふう 風炉	席上に置いて炭を組んで火をおこし、その上に釜を置いて湯を湧かす道具
かま 釜	湯を沸かすのに使う鉄製の器
みずさし 水指	湯の温度を整えたり茶筌を清めるために使う水を入れる器
こいちゃ 濃茶	多めの抹茶を湯で練る茶。どろどろとしている。一碗を客がまわし飲みする
うすちゃ 薄茶	少量の抹茶に多めの湯でたてる茶。一般的に飲まれることが多い茶。一人ずつに点てられる
かけもの 掛物	掛け軸のこと。和歌や禅語、手紙といった文字や絵画など
はないり 花入	花を飾るための入れ物
ちや た 茶を点てる	茶道では、お茶は「入れる」ではなく、「点てる」といいます。普通のお茶は茶葉を熱湯に浸して煎じて出すのに対し、抹茶は粉末にお湯を注いで茶筌でかきまぜます
ていしゅ 亭主	客に対し茶を点て、接待をする人。客を招いた主人
みずや 水屋	茶室に隣接する施設で、点前や茶事の準備をするところ。台所の機能を持ち、流しや棚がある
ぎょうじ 行事	茶道に関する様々な催しのこと
ちやじ 茶事	食事から濃茶・薄茶までの一連のおもてなしを通してお客さまをもてなす茶会のこと
とくど 得度	仏教への信仰を深めるため、師と誓いを結び仏弟子となる儀式。僧侶となる出家得度と、在家のまま居士となる在家得度があり、宗屋さんは在家得度を行った
さいごう 斎号	得度の際、師より授かる仏弟子としての名前。「斎」は本来部屋を意味し、修行のため与えられた室号がその人自身を指す名前となった

日本茶道

茶道之乐趣、款待及“一期一会”

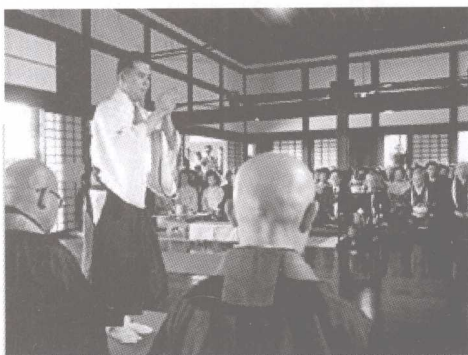
日本的茶叶最初是从中国传入的，主要是作为贵族、僧侣等阶层的特殊饮品。据说日本人饮茶的习惯是从奈良时代才开始盛行的。

对于对茶道很陌生的人来说，所谓的茶道很容易被误解为仅仅就是以一定的规矩冲茶，再按一定的礼节饮茶而已。而实际上茶道是一门综合了生存目的、思想、宗教，以及布满茶道茶具等美术工艺品的茶室，具有广泛知识和感性认识的深奥艺术。

茶道与禅学有很深的渊源，佛教的禅宗就是广教世人思考“现在如何生存”。茶道之中禅法无处不在，说禅法是茶道之根本也不为过。在茶室那样寂静的空间里集中心神冲茶，能使人心平气和，重新审视自我。

另外，茶会中所有准备的东西都有其各自深刻的寓意，从冲茶用的茶具、挂在壁龛之中的字画，到装饰茶室的鲜花等，全部都象征着主人对客人的欢迎之意。因此，茶会主人不仅要对茶具、美术工艺品等有相当渊博的知识，而且必须具有相当高的审美能力。正因为如此，茶道被称为包涵了日本生活文化的综合艺术。

茶道之中有一句叫“一期一会”的俗语，正如字面所示，象征了一生只此一次相会的意思。茶道中，人与人之间的相会被认为是此生仅此一次的，因此主人会尽其所能地款待客人，也象征了主人为对方尽其所能的冲茶之意。茶道之中没有具体形式的最高境界，因为它会随着当时的人与物的不同而不尽相同，无法拘泥于某种固定的形式。



关于抹茶

茶道中所使用的茶是一种被称为“抹茶”的茶叶粉末。抹茶与普通的日本茶叶有所不同，它是经过特别方法特制而成。首先在茶树刚刚长出新芽的时候就将茶树给遮盖起来，避免阳光直射，这样培育出来的茶叶就有一种独特的甘甜之味。然后再将嫩茶叶采摘下来以蒸气蒸干，除去茎的部分碾成粉末就成了抹茶。

茶道的饮茶方式是，将抹茶直接放入茶碗中，一边从上面慢慢地注入开水，一边用茶筴充分地搅动茗品。宗屋先生说：“在喝红茶等时，通常是一边饮茶一边吃东西，但是茶道中茗品抹茶的时候都是正襟危坐，集中精神、双手持碗，在喝完前是不可以在中途将茶碗放下的。在茗品抹茶的那一瞬间，喝茶就是所有的目的，我认为这便是茶道与普通饮茶的区别所在。”

关于冲茶前的准备



将茶碗里注入开水



清洁茶器，温茶碗



将抹茶加入茶碗

关于茶道茶具

茶会因庆祝的茶会、各季节茶事等不同而主题各异，因此茶会主人根据茶会的主题来准备一些特别的茶具。

首先在茶席上布置好“挂物”、“花入”（详解请参考词汇贴士），以及季节性的鲜花，然后是为冲茶准备的茶具，如“釜”、“水指”、“茶入”、“茶碗”、“茶杓”等（详解请参考词汇贴士）。

在茶席上如何组合使用茶具是非常重要的，茶会主人会根据本次茶会的主题来挑选茶具，客人则可以从主人处了解此组茶具的历史等，鉴赏茶具之精美。不管茶具是新品还是古董，都是根据季节、喜好以及客人的不同而特别组合搭配的。在称之为“醒目”的表现手法中就有以下事例，比如说将“水指”与不锈钢的茶壶、点心与巧克力搭配等，其中也采用了一些原本与茶道没有关联的物品。

武者小路千家还保存着很多从利休时代流传下来的古茶具，宗屋先生说：“我现在还以传统的冲茶手法，用400年前利休先生时代的茶具来冲茶。那一瞬间，可以将自己与400前的历史人物合二为一。这与在美术馆观赏古茶具不同，这是通过触感来切身体会，只有通过茶道才能感受到的愉悦。”

武者小路千家的介绍

武者小路千家的第四代传人千一翁宗守先生于1667年在京都创建了“官休庵”，由于地处京都上京区武者小路，所以一直以来一般都称之为“武者小路千家”。

官休庵又被称为“一畳台目”（大约只有一张半榻榻米大小），是一个非常小的茶室，现在的“官休庵”是在大正5年（1916年）重建的。与茶室相连的茶庭以景致美丽而闻名，是京都市指定的名胜之一。

另外，在东京都文京区还有一间“东京稽古场”，和创建于18世纪前半期的被称为“半床庵”的茶室。



词汇贴士	
茶筴	用来将茶碗中的抹茶与水充分搅拌的竹制茶具
茶杓	将茶从容器（棗或者茶入）中舀出来用的竹匙
茶入	用来冲浓茶的容器，是陶器制品
棗	用来冲淡茶的容器，主要以漆器制品为主
炉	将榻榻米中切开一个箱状的空部，是用来升炭火的地方
风炉	可以放在茶席上用来升炭火的炉子，上面放置釜，用来烧水的茶具
釜	用来烧水的铁制容器
水指	调整水温或是清洗茶筴时用来舀水的茶具
浓茶	以多量抹茶冲出来出来练茶，稀糊状的，一碗茶由客人轮流喝
薄茶	以少量抹茶加大量的水冲出来的，是一般品茗最多的茶，是一人一份冲出来的
挂物	挂幅字画。写有和歌、禅语、信等文字或是绘画
花入	装花的容器
沏茶	在茶道中不是称为“泡茶”而是“冲茶”，相对于普通的茶来说是将茶叶放在开水里浸煎出来的，抹茶则是将抹茶粉末放入茶碗中，再一边注入开水一边以茶筴搅拌而成
亭主	款待客人、为客人冲茶的人。也就是召集客人的主人
水屋	与茶室邻接的设施，在冲茶前做茶事准备的地方，有着与厨房一样的功能、有水池和棚顶
行事	为茶道而举行的各种活动
茶事	从吃饭到浓茶、淡茶为止的一连串款待客人而举行的茶会称为茶事
得度	为了加深对佛教的信仰，向师傅起誓成为佛教弟子的仪式。分为出家为僧的出家得度和在家修行居士的在家得度，宗屋先生就是奉行了在家得度
斋号	在进行拜师的时候，师傅授予佛家弟子的名号。“斋”原本指的是房屋的意思，为了修行而赠予的室号也就成了代指本人的名号



【作者紹介】

串田 孫一（1915～ ）詩人、哲學家、隨筆家。東京生まれ。東大哲学科卒業。戦前に福永武彦らと詩誌「冬夏」を出し、のちに「歷程」同人となり、次いで詩誌「アルビレオ」を出した。広いジャンルに渡って著作をし、一種独特の詩的エッセイも文章のスタイルを形作っている。主な著作に「博物誌」、「串田孫一の随筆」、「串田孫一著作集」などがある。

【作者介绍】

串田 孫一（1915— ）诗人、哲学家、随笔作家。出生于东京。东大哲学系毕业。战前与福永武彦等人出版了诗歌杂志《冬夏》，之后就成为《历程》杂志的编者之一，随后又出版了诗歌杂志《阿而比雷欧》。他的著作涉及广泛，形成了一种独特的诗歌随笔文体。主要著作有：《博物志》、《串田孙一随笔》、《串田孙一著作集》等。

初雪

串田 孫一 「山を訪れる四季」

山を新しい雪が飾りに来た。初雪はいろいろな訪れ方をした。何度も丁寧過ぎる予告の後に、遠慮勝ちに夜こっそりと降って止むこともあった。それは時には、人の知らないうちに降って積もって消えてしまうことさえあるらしかった。またある時には、余り無作法過ぎるような、襲うような訪れもあった。そして大量で、呆然と見ている間に山を冬の物に変えた。逃げ惑うように鳥が山を舞い下り、よく見ると、岩峰の中には明らかに無法の雪に怒りを見せているものもあった。新しく巡って来た確かな冬のこの土産物を手に掬い上げて、若しそれだけの量があるならば幾度も頭からかぶりたい気がした。

それは、突然に思いついた冬を迎える一種の儀式であった。

串田 孫一 《山中四季》

初雪来装点山岭了。

初雪来访的形式也是多种多样。有时是在几次郑重地预告之后，小心翼翼地在夜里悄悄地落下、随即而止。有时甚至是在人所不知的时候落下、积起又融化得无影无踪的。而有时却又是粗暴狂野，骤然袭来。并且雪下得很大，在我们发愣之时，它已给山岭换好了冬装。鸟儿们东撞一头西撞一头，慌慌张张地飞下山去。仔细一看，有的对这顽皮的雪流露出愤怒的表情。我双手捧起这刚刚降临的冬天的礼物，不由地觉得如果可以的话，真想一次又一次地撒满全身。

这是我突然想到的一种迎接冬天的礼仪。

【作者紹介】

川端 康成（1899～1972）小説家。大阪府生まれ。東京大学国文科卒業。大正10年東大同級生らと第6次「新思潮」を発刊。それを通じて菊池寛を知り、以後恩顧を受けた。大正13年横光利一らと「文芸時代」を創刊、新感覚派の中心メンバーとなる。川端は、横光と共に、その代表作家と注目されるようになるが、川端はその運動の中心的存在であったわけではない。むしろ表現上の実験はあるが伝統的抒情を基本として、虚無的態度を強め、独自の美意識を求め感性の昇華に努力する。主な著作に「感情装飾」、「十六歳日記」、「伊豆の踊り子」、「雪国」、「千羽鶴」、「山の音」、「古都」などがある。

【作者介绍】

川端 康成（1899—1972）小说家。出生于大阪府。东京大学国文科毕业。大正10年与东大同学一起发刊了第6期《新思潮》杂志。并由此结识了菊池宽，以后也一直受其关爱。大正13年与横光利一等人创刊《文艺时代》，成为新感觉派的中心成员。后来川端虽与横光一起作为代表作家而备受关注，但他并非此活动的核心人物。与他在表现手法的尝试相比，他更鼓励在传统抒情的基础上，强调虚无态度，追求独立审美意识的感性升华。主要著作有：《感情装饰》、《十六岁日记》、《伊豆的舞女》、《雪国》、《千只鹤》、《山音》、《古都》等。

冬の夕暮

川端 康成 「雪国」

さんきょう 山峡は日陰となるのが早く、もう寒寒と夕暮色が垂れていた。そのほ
さむさむ の暗さのために、まだ西日が雪に照る遠くの山々は、すうっと近づいて
来たようであった。

やがてやまそれぞれの遠近や高低につれて、さまざまの巖の陰を深めて行き、峰にだけ淡い日向を残す頃になると、頂の雪の上は夕焼け空であった。村の川岸、スキー場、社など、ところどころに散らばる杉木立が黒々と目立ち出した。

冬日黄昏

川端 康成 《雪国》

峡谷早早地就落入了日阴处，此刻已是冷飕飕、暮色四合了。在这昏暗的暮色中，夕阳远处有积雪的群山，也仿佛一下子靠近过来。

不一会，远近高低行色各异的山坳也越来越昏暗，待到只剩下顶峰仍沐浴在淡淡的阳光里时，白雪皑皑的山顶上空已是晚霞满天了。村子的河边、滑雪场、神社等处稀稀拉拉的杉树，黑黑地凸显了出来。